



## 理事長ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年も「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。多くの個人団体のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

私どもは、自分の考えを持ち、他者の考えを認め、社会で率先して役割を担うことのできる自立した人々が協力する社会「自立型共生社会」の実現を、理念に活動しています。本キャンプはそのひとつとして、自然とのふれあいにより五感を研ぎ、人とのふれあいにより対話力を養うことを目的に実施しています。

特に本年は、4日目の班別自由行動の目的、内容やスケジュールなどを、班のメンバーで相談し決めるようにすることで、今まで以上に主体性を重視したプログラム構成にしました。その結果は、私どもの想像以上であり、子供たちがしっかり意見を述べ相談できていました。とても頼もしく、意義あるものとなりました。

本キャンプが、参加する児童や学生リーダー、スタッフの自立心、共助心を培う一助となれば幸いです。今後とも、ご支援の程よろしく願いいたします。

特定非営利活動法人 シンク・イー 理事長 喜多 隆 正

## キャンプディレクターより

教育に関する課題は、グローバル化・情報化等の進行により変化し、それに伴いコミュニケーション能力や発想力など、求められる能力も変化し新しくなっています。この課題解決の一助とするため、私たちは以下のようなことを念頭に当事業を行っております。

### ・自然体験

期間中は山・川・海といった自然に囲まれて過ごします。自然は気持ちよさや楽しさを与えてくれるだけでなく、時に災害や事故を引き起す怖いものでもあります。このように「自然」とむきあうことは日常ではなかなかできない体験で、心の成長に大きく寄与します。

### ・生活体験

パソコンや携帯電話などが無いキャンプという不便な生活空間で、参加者は自分たちで考え、自分たちで行動し、様々な創意工夫を生むことができるようになります。

### ・社会体験

わんぱく KIDS では通っている学校や学年ができるだけバラバラになるように班分けをしています。日常生活とは異なり、違う学年、少し大人のボランティアなど知らない人たちと協力しながら過ごすことで、自分のできることを知ったり、人にやさしくしたりすることができます。

### ・チャレンジ体験

上記3つの体験は子どもたちにとって大きなチャレンジとなります。様々なチャレンジを通じて、失敗したとき、次はどうすればいいかを考え、成功すれば、それを自信とし成長することができます。

わんぱく KIDS は「自分でできることは自分です」というのが大前提です。期間中の身の回りの整頓、清掃や水筒の準備などは子どもたち自身が行いました。

お子さまが帰宅後にできることが増えていたら、褒めてあげてください。さらに日常でも継続できるようご指導いただければ幸いです。また、もしこの事業が少しでもお子さまの成長にお役に立てたとお感じになられましたら、周りの方にもお声掛け頂き、来年もぜひご応募ください。

また、当事業には「ボランティアの育成」という目的もあります。彼らはお子さまの成長のため、そして自分の成長のために夏休みという大切な時間を使ってきています。次世代を担う大切な人材であるボランティアの育成には、私たちだけではなく皆様のお力添えが必要です。今後とも彼らに敬意を持ちつつボランティアの育成にもご支援賜えますようお願い申し上げます。

さらに、当事業では毎年、これまで参加してくれたことのある中学生・高校生などの「ジュニアボランティア」の募集をしております。6年生の保護者の方は来年のご参加をご検討ください。これからも当会ならびに当事業にご支援・ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

キャンプディレクター 井出 新之介

## 実 施 概 要

構成団体 主 催 特定非営利活動法人 シンク・イー  
後 援 中央区教育委員会  
特定非営利活動法人 東京中央ネット  
協 力 中央区立宇佐美学園  
公益社団法人 小田原青年会議所  
特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会

主催団体 理念 「自立型共生社会の実現」  
事業名称 第 17 回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美  
事業目的 青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成  
事業コンセプト 「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」

開催日程 平成 28 年 8 月 5 日から 8 月 9 日 4 泊 5 日  
開催拠点 中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域

事業概要 子ども：3～6 年生の男女各 1～2 名 リーダー：2～3 名  
合計 10～12 名で 1 つの班を構成。全 12 班  
班別行動を基本とし、海・山・川のなどの豊かな自然環境の中で各アクティビティを体験する組織キャンプ。寝室は学年を考慮した男女別の 8 室

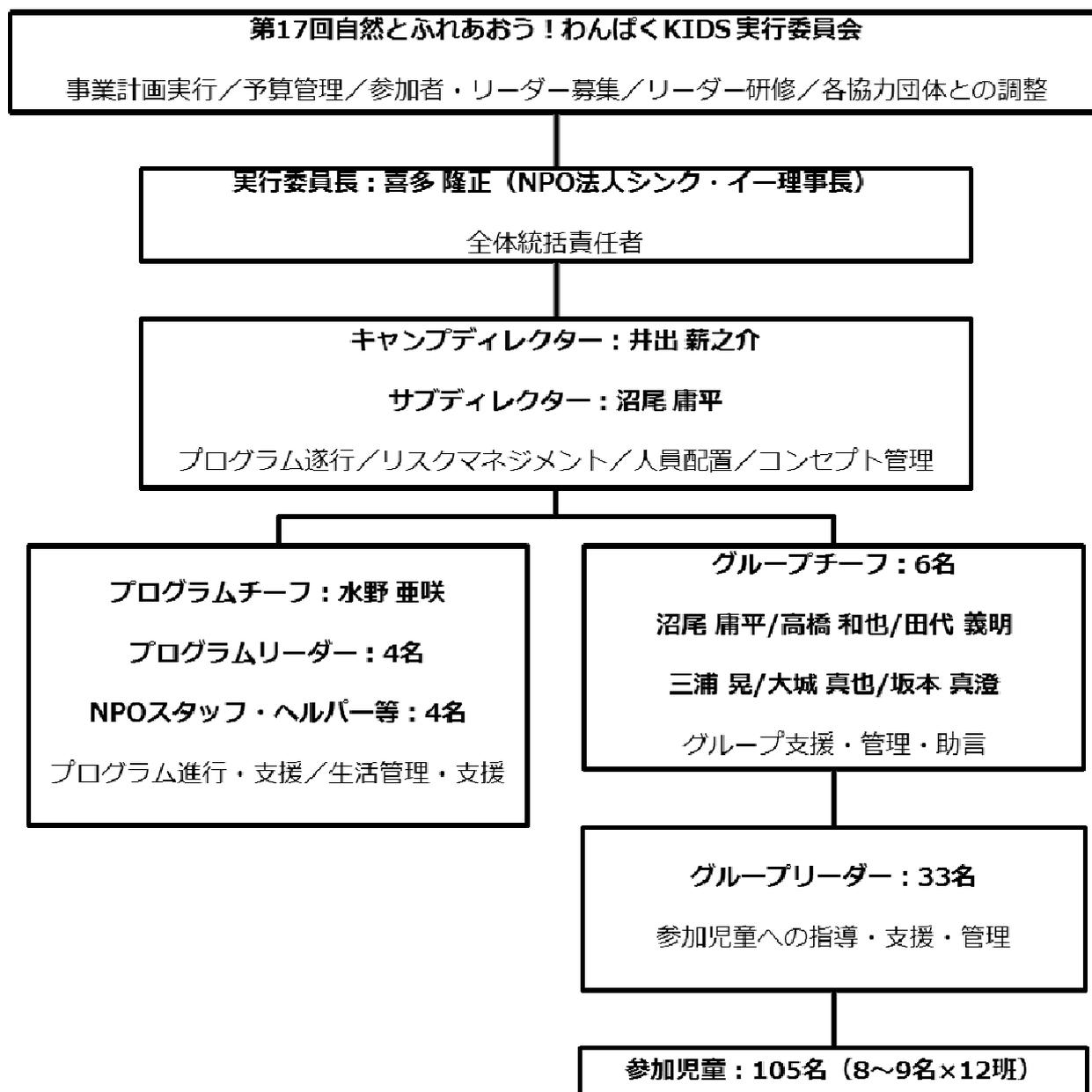
参加児童 中央区在住・在校の児童 3～6 年生 計 105 名  
ボランティア人員 高校生ボランティア 2 名  
大学生・大学院生 36 名（文教・帝京など）  
社会人・リーダーOB 6 名  
地域の方 5 名（宇佐美・湯河原地域）  
NPO・協力団体 10 名  
宇佐美学園職員 約 20 名

問い合わせ先 特定非営利活動法人 シンク・イー  
MAIL : [kids2016@tokyochuo.net](mailto:kids2016@tokyochuo.net) TEL : 03-6661-0843

写真&報告書 DL URL : <http://www.tokyochuo.net/meeting/kids/jigyuu/wanpaku2/index.html>  
「わんぱく KIDS 宇佐美」で検索 QR コードはこちら  
(9 月中にアップ予定です)



## 組織・役割



## プログラムのポイント

### ■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりでできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

### ■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

### ■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする

### ■班のキャラクターづくり

班のシンボルとなるキャラクターを作り、班員としての意識を高める  
作成したキャラクターを班旗とし、仲間としての意識を高める

### ■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める  
自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

### ■班別自由行動の計画

班ごとに決めたスローガン達成のため、4日目のプログラムを話し合い計画する  
自己分析、集団の意思決定、自立への気づき  
自己・他者を大切にすることの重要性の認識

### ■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

### ■炊事体験・ひものづくり・食育ガイダンス

他の生き物の命をもらって生きていることへの気づき  
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食事ができることへの意識付け  
出汁からつくる豚汁や、鍋での炊飯など日本の食文化への理解

### ■思い出発表会・キャンドルファイヤー

最後の夜にこれまでの思い出を発表し、全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

## 5 日間の様子

	1 日目 (8 月 5 日)
朝	T-CAT 集合・出発 (7:30) トイレ休憩 (海老名 S.A)  湯河原町民体育館着 オリエンテーション レクリエーション  幕山公園着
昼	昼食 (弁当) 川遊び  宇佐美学園着 入所式  入浴 夕食
夜	キャラクターづくり  消灯 (21:00) リーダーミーティング



①



②



③



④

① 湯河原町民体育館でのオリエンテーションの様子

② 幕山公園での川遊び体験 岩に手をつけて移動します

③ 川遊び体験その2 冷たい水が気持ちいい! みんなでピース!

④ 各班で5日間のシンボルとなるキャラクターを考えました  
絵を描きながら話し合いをしています

2日目 (8月6日)	
朝	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃 宇佐美海岸着 磯浜あそび
昼	昼食 (弁当) 磯浜あそび 宇佐美学園着 入浴 夕食 清掃
夜	宇佐美の歴史・石丁場遺跡講演 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

① 天気に恵まれ最高のロケーション！

② 磯浜遊びの様子その1

③ 磯浜遊びの様子その2

④ 日陰でお弁当！

⑤ 磯にいたカニ

この他にもたくさんの生き物を観察しました

⑥ 3日目の裏山散策で巡る遺跡の講演を受けました

岩の切り出し方を実演してもらいました

3日目 (8月7日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃  班別行動 (ローテーション) ・裏山遺跡散策 ・ひものづくり ・プール
昼	昼食 班別行動 (ローテーション)  炊事体験  入浴 夕食 清掃
夜	4日目の班別自由行動の計画  消灯 リーダーミーティング

①



②



③



④



⑤



⑥

- ① 裏山の遺跡散策 刻印や石切の跡にびっくり!
- ② 干物づくりの様子
- ③ さばいた鰯を天日に干します
- ④ 炊事体験で作った豚汁 具が大きくて美味しそうです
- ⑤ 自分たちで作った夕飯に大満足!
- ⑥ 使った食器や器具は自分たちで洗います

4日目 (8月8日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃  班別自由行動 海、工作、プール、街探検 体育館遊び 発表会練習等
昼	昼食  班別自由行動 海、工作、プール、街探検 体育館遊び 発表会練習等  入浴 夕食
夜	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング



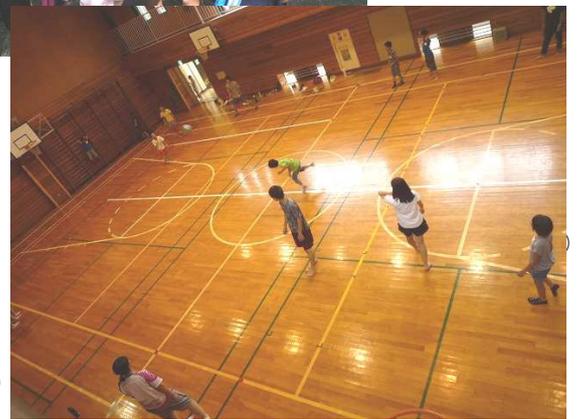
①



②



③



④



⑤



⑥

- ① 班別自由行動その1 工作で作ったピタゴラ装置!
  - ② 班別自由行動その2 グラウンド遊び
  - ③ 班別自由行動その3 街探検と宇佐美のゴミ拾い
  - ④ 班別自由行動その4 体育館遊び
  - ⑤ 思い出発表会の様子
  - ⑥ キャンドルファイヤーの様子
- 5日間の思い出を振り返りました

	5日目 (8月9日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 大掃除 退所式 宇佐美学園出発 トイレ休憩 (新島ドライブイン) 石垣山一夜城歴史公園到着 自由行動



昼	昼食 (弁当) トイレ休憩 (海老名 S.A) T-CAT 解散 (16:30)
---	--

### <サブディレクター報告 (NPO・シンク・イー 沼尾 庸平) >

本年度は新たなプログラムが多く、子供たちにとっても、リーダーにとってもチャレンジの多い5日間でした。

新たなプログラムであるキャラクターづくりや4日目の班別自由行動は、作成したものや活動そのものに目が行きがちですが、前段で行われる班の意見をまとめる為の話し合いも重要です。自分の意見を述べ、相手の意見も認めながら全体の意思決定をする。この営みが子供たちの自立と共生の精神を育みます。子供たちは出会ったばかりなのにもかかわらず活発に意見を出し、話し合い、それぞれ創意工夫をしていました。特に班別自由行動では、宇佐美のゴミ拾いや工作など我々スタッフの思いもよらない活動を提案する班が数多くあり、子供たちの遊びへの意欲、発想力、行動力に驚かされるばかりでした。

また、今年は炊事体験や夜清掃など、生活面に関わる活動の時間も増やしました。日を追うごとに役割意識を持ち始め、3日目の炊事体験では炊飯、豚汁づくり、干物焼きという献立を全班が予定時刻に食べ始めることができました。子供たちが自ら仕事を見つけ働く姿から一人の人間として自立していく様子がうかがえました。

例年に比べ3・4年生が多いキャンプでしたが、5・6年生がリーダーシップをとり、下級生にお手本を示す姿はとて頼もしいものでした。そんな上級生がいたからこそ3・4年生は安心して5日間を楽しみ、たくさんの経験を積むことができたと思います。この5日間の思い出を語り、子供たちがどんな経験をしてきたのかご家族で振り返りご家庭や学校での生活につなげていただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

### <プログラムチーフ報告 (教育学部 4年生 水野 亜咲) >

わんぱく KIDS4 回目の今回はプログラムチーフとして運営を務めさせていただきました。昨年までのグループリーダーを務めていた時とは違い、たくさんの子どもたちと関わることができました。

今年は例年のプログラムとは若干異なり、4日目に子どもたちとリーダーが協力して、自ら一日の計画をし、それを実行する、という新たな試みがありました。わたしは他にもボランティアに行かせていただいておりますが、このように自分たちで考えるという経験はしたことがありませんでした。自分たちで考えたプログラムを自分たちで実行することで更に班の絆が強まり、協力し合っているのがとても印象的でした。

この5日間のキャンプで、子どもたちはリーダーの助けを借りつつ自ら行動して成長します。そして実はリーダーたちも、子どもたちとの接し方を工夫して考え行動し、成長しています。気が付かない内にわたしたちリーダーと子どもたちは助け合いながら成長しています。これこそがわんぱく KIDS 最大の魅力だと感じています。

わたしが教職を目指そうと思ったきっかけのひとつに、このわんぱく KIDS との出会いがあります。大学生の内からこんなにも貴重な経験を得て、たくさんの子どもたちに出会うことができるこのわんぱく KIDS を4年間来続けて良かったなあと心から感謝しています。本当にありがとうございました。



## 協賛・協力

東京海上日動火災保険(株)  
(株)ロイヤルパークホテル

大和物産  
小坂こども元気クリニック  
(株)ネオ・コミュニケーションズ  
(一社)シーフードスマート

古屋法律事務所  
富江 裕子  
永塚パートナーズ法律事務所  
(株)サヨカ  
(株)トミタ  
大森造園建設(株)  
(株)日本ワークサービス  
下目黒歯科内科  
JP ホーム(株)  
タチバナアーツ管理(株)

東京海上日動あんしん生命(株)  
(株)建設技術研究所

(株)隅田屋商店  
(公社)東京青年会議所 中央区委員会  
天麩羅 天音

(株)小川商会  
半澤 勝己  
(株)マウンテン・ワン  
(株)サプル  
飯塚 宜広  
桑原 宏史  
(株)ダヴィンチ  
朋和商事(株)  
(株)中央コミュニティー  
(株)セントラルエステート

(※順不同 敬称略)

### <当報告書に関するお問い合わせ先>

特定非営利活動法人 シンク・イー

Tel: 03-6661-0843

Mail: [kids2016@tokyochuo.net](mailto:kids2016@tokyochuo.net)